高根地区第 2 回学校運営協議会会議録

本高根地区第 2 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和 6 年 7 月 1 0 日 (水)
場 所	高根小中学校 視聴覚室
出 席 者	柳沢孝・日野高行・行成美知代・渡辺壽生・菌部功 ・阿部一智・平井直美・大澤泰彦・松本康彦・三芳雅彦 (日高市教育委員会) 小坂井啓二
欠 席 者	河本真紀子
審 議 事 項 及び決定事項等	1 社会的自立に向けた取り組み(進捗状況)について 【決定事項等】 2 運動会・体育祭実施計画について 【決定事項等】
会 議 資 料	運動会のプログラム(案)
会 議 の 経 過	1 社会的自立に向けた取り組み(進捗状況)について 2 運動会・体育祭実施計画について 三芳：資料をもとに校長から説明。 渡辺：今度の土曜日にスポーツ協会の会議がある。スポーツ協会が共催になる。名称をどうするか？ 三芳：まだ検討している。 渡辺：学校がメインでスポーツ協会は補助で 三芳：共催で主は子供たちである。競技などは学校で決定する。 渡辺：スポーツ協会で用具の準備などもお手伝いする。 三芳：何人お手伝いできるか、あとで教えてほしい。 小坂井：地区体育祭も兼ねるのか 渡辺：兼ねる。 柳沢：日高小唄は練習するのか 三芳：その場で覚える 渡辺：お楽しみ抽選会について、どのように行うか。 三芳：低学年を早く帰宅させることを考えるとどこにいれ

るか。

渡邊:今までは来場されたときに抽選券を BOX にいれて途中や最後に発表する。

三芳:景品はこどもがあたったら持って帰れるのか。

渡邊:持ってかえれます。

柳沢:景品に日高の名産を入れるのはどうか。

三芳:抽選会の3位以内を発表する場を設定する。

日野:運動会の前にグラウンド整備をする必要があるのでは。日高音頭の指導者を探してほしい。

三芳:学校は、子供たちの社会的自立の育成のためには、子供たちに様々なことを投げかけていく指導をし、自分の頭で考える指導をしている。生徒会に運動会の企画を考えてもらっている。高根小ではコミュニケーション能力の育成をしてきた。学年があがるにつれて指示待ち人間を作らないようにする教育がベースになっている。体育祭で子供たちがどれだけ自分たちで動いているかを評価してほしい。うまくいっているパターンは先生が楽をしているように見えることが望ましい。体育祭後の行事も同じようにしていきたい。

柳沢:子供たちへの企画について、5・6年の児童もその企画にはいるのか。

三芳:できるだけ関わらせたい。

柳沢:体協との話し合いにも生徒が関われば

三芳:そのようにしようと考えている。

菌部:別々にしていた行事がひとつになるは難しいけど、一年目だからやってみる。最終目標を生徒がしらないといけないのでは。

三芳:先日、生徒には話した。学校が地域の骨格になることを目指している。昔ながらの運動会ができるようにしたい。

行成:キッチンカーはどのように導入するのか。

三芳:検討中である。お金や公平性などがあるため子供を関わらせるのは難しいと思う。地域の方や保護者だけの関わりなら問題ないが。キッチンカーの方の売り上げなどが保証できない。

小坂井:地域と学校が融合してやるのがメイン。それぞれの体育祭を盛り上げるために、キッチンカーや出店がでた

	<p>ことで生徒指導が発生した事例がある。学校が主となるなら地域と学校の折り合いをつけることが必要であるため、教育的な目的がぶれないようにする必要がある。</p> <p>行成：昔の運動会と今の運動会の在り方や教育的意義が変わってきている。</p> <p>三芳：以前からスポ協のほうでは昔ながら運動会をしたいとの申し出があったが、学校の運動会は体育の発表の場であったが、義務教育学校の運動会は小中の発表の場としながら地域の楽しみにできたらすごいことである。本年度はとりあえずやってみて今後の在り方を検討する。9年生には申し訳ないことになるかもしれないが、今の生徒ならできると思っている。</p> <p>日野：地域の方が運動会を通して学校に目を向けることが必要である。前段階から学校に足を運んでもらえるような企画をしてほしい。</p> <p>三芳：草むしりがしてほしい。9月1週目に大草むしり大会を設定してもいいかも。さらに地域協働本部の方にも動いてもらえてたら。児童生徒のボランティアも検討してみる。</p> <p>菌部：1年目だからとにかくやってみるのはいいのではないか。やったあと、子供からアンケートをとり、今後の検討事項にしてみてもは。</p> <p>三芳：実施する</p> <p>柳沢：運動会がいい形になればいい。</p>
--	--

日高市学校運営協議会規則

(設置)

第1条 日高市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第47条の6第1項ただし書の規定に基づき、日高市学校設置条例（昭和46年条例第40号）に規定する小学校及び中学校における相互連携その他の運営並びに当該運営への必要な支援に関して協議するため、別表左欄に掲げる小学校及び中学校につき、同表右欄の学校運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 協議会は、法第47条の6第4項から第7項までに規定する事項のほか、前条の設置の目的に係る協議の対象とする小学校及び中学校（以下「対象学校」という。）につき、

次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第79条の9第1項の規定により小学校における教育と中学校における教育を一貫して施すための必要な支援に関する事。
- (2) 小学校及び中学校において相互に密接に連携し、その所在する地域の特色を生かした教育活動を行うための必要な支援に関する事。

（法第47条の6第4項の教育委員会規則で定める事項）

第3条 法第47条の6第4項の教育委員会規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 教育目標及び学校運営に関する事項
- (2) 学校施設の管理に関する事項

（法第47条の6第7項の教育委員会規則で定める事項）

第4条 法第47条の6第7項の教育委員会規則で定める事項は、対象学校の職員の採用、転任及び昇任に関する事項（特定の個人に関するものを除く。）とする。

（組織）

第5条 一の協議会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者について、教育委員会が任命する。

- (1) 対象学校の所在する地域の住民
- (2) 対象学校に在籍する児童又は生徒の保護者
- (3) 社会教育法（昭和24年法律第207号）第9条の7第1項に規定する地域学校協働活動推進員その他の対象学校の運営に資する活動を行う者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

3 教育委員会は、前項第1号に掲げる者について委員を任命する際は、公募するものとする。

（任期）

第6条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第7条 協議会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 協議会に副会長を置き、会長がこれを指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第8条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席等)

第9条 協議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明若しくは意見を聴き、又は関係者から資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第10条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(委任)

第11条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日から平成32年3月31日までの間、第6条の規定の適用については、同条中「2年」とあるのは、「1年」とする。